

みんなであつくりつくり 日の出町！

平成29年度 町長施政方針（骨子）



橋本町長

日の出町の行政について

私は、町民の皆さまのご理解とご支援による平成26年4月の第2期橋本町政のスタート以来、「百里を行くものは九十里を半ばとす」を肝に銘じ、任期4年間の一日一日を大切にしながら、「みんなであつくりつくり 日の出町！」を合言葉に、活気あふれる、心身ともに豊かな、輝かしい日の出町をつくるため、誠心誠意、努力してまいりました。

しかしながら、「好事、魔多し」のことわざではありませんが、昨年の夏から私が体調を崩し、長期間にわたって町政の現場から離れざるを得なくなりましたことについて、ここで改めて町民の皆さま、議員の皆さま並びに関係者の皆さま

にお詫び申し上げます。

おかげさまをもちまして、体調も元に戻りましたことから、今後も町政の先頭に立ち、町の基本方針である第四次長期総合計画後期基本計画をもとに実施計画を作成し、計画的な行政を推進してまいります。また、人口ビジョンを達成するため、総合戦略を着実に実施し国の方針と整合性を図りつつ、町の振興発展に努めてまいります。

なお、町の行政と密接な関係にある広域自治体である東京都政について、2月に開催されました「知事と市町村長の意見交換」の概要を申し上げます。

1. 町における一般廃棄物処分場受け入れに関する経緯と「スポーツと文化の森構想」との関係
2. 土砂の処分についての都の関係条例の充実と土砂埋め立て等に関する条例の制定
3. 市町村総合交付金の重要性と今後の拡充
4. 2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける亜細亜大学との包括

■がん対策

がんは日本人の二人に一人がかかる病気であると言われておりますが、私も昨年このことを身をもって体験し、あらためて患者さんやご家族の大変さを実感いたしました。

町では、がん検診や、年齢の節目ごとの人間ドック受診勧奨を行い、がんの早期発見に努めております。がんが発見された場合は、がん医療費の助成を活用し、治療に専念できることを周知します。

2 ひのでA（安全）・A（安心）大作戦の展開

(1) 全町の安全安心
自治会館に設置されているAEDは、計画的に更新を行い、29年度に3か所の自治会館へAEDを設置することで自治会の更新が終了します。

(2) 消防団
地域の安全・安心の中核として活動する消防団につきましては、日々の活動の支援及び団員の活動時の安全確保のための資機材の充実や団員の福利厚生等により、活動しやすい環境づくりに努めます。

(3) 再生可能エネルギー
地域の安全・安心の中核として活動する消防団につきましては、日々の活動の支援及び団員の活動時の安全確保のため、資機材の充実や団員の福利厚生等により、活動しやすい環境づくりに努めます。

的協働・連携協力に関する協定に基づくキャンパの誘致検討
これらについて、知事からは、それそれ前向きなお話をいただいたと受け止めております。

「躍進ひので！ニュー5大作戦」の展開

1 日本一の福祉のまちづくり
子育て支援の充実と、お年寄りや障がい者にやさしい町づくり

■子育て支援の充実
(1) 子育て支援策
次世代育成クーポンや医療費の助成につきましては、少子化対策・子育て支援に有効であることは合計特殊出生率の向上等により実証されており、今後も検証を継続しながら、制度を維持します。

(2) 保育環境の整備事業
保育人材の確保、定着及び離職防止を図るため、「保育士確保対策事業補助金」を新設し、保育従事職員用の宿舍借りに対する助成を行います。



大正保育園新園舎イメージ図

(3) 保育園整備事業
大正保育園の建替えについて、

再生可能エネルギーの活用につきましては、公共施設である老人福祉センター、やまびこホール、グリーンプラザに太陽光発電や太陽熱利用システムを導入してまいりました。

また、東京たま広域資源循環組合より、町からの要望に基づくメガソーラー施設を谷戸沢処分場内へ設置したいとの申し出があり、関係各課で協議調整を行った結果、了承することいたしました。平成29年10月からの稼働を予定しており、年間発電量は230万キロワットとされ、これは約500世帯の年間電気使用量に相当します。

なお、環境問題へ対応する観点から、CO₂の削減、温室効果ガス対策として、庁舎をはじめとする公共施設へのLED照明の設置などを、計画的に推進します。

(4) 生活道路等の整備
日の出団地33号線外舗装打換工事、三吉野下平井41号線外舗装打換工事及び三吉野工業団地2号線外舗装打換工事は、老朽化した道路舗装について打換を行うものです。都水道工事に伴う道路舗装工事は、安全性の確保と経費の削減を図るため、東京都水道局が実施する工事に合わせて町道の舗装工事を行います。また、補助道第3号線道路改良工事は、本宿小学校の通学路でもあり長年の懸案でありましたが、このたび、地権者の同意をいただき道路の拡幅及び歩道の整備を行います。

29年度内の完了を目指し、支援します。

(4) 子育て支援の充実
学童クラブの体制の充実、ファミリーサポートセンターの運営の充実や特定妊婦医療費の助成、幼稚園等預かり保育事業の委託なども継続します。

(5) 個別接種への移行
昨年7月の予防接種事故は、あつてはならない事故であり、当日接種においていただいたお子さま、保護者の皆さま、多くの関係者の皆さまに、大変なご心配とご迷惑をおかけいたしました。あらためて、お詫び申し上げます。

その後の改善策として、29年度から予防接種は原則的に「個別接種」といたしました。集団接種から個別接種への変更について、保護者の皆さまに適切に周知してまいります。

なお、個別接種への移行にあたっては、日の出町医師会、あきる野市医師会及び阿伎留医療センターなどの関係機関のご理解、ご協力をいただいたことを申し添えます。

■お年寄りや障がい者にやさしい町づくり
(1) 高齢者支援
75歳以上の方を対象とする高齢者医療費助成制度、70歳から75歳未満の方を対象とする元気で健康に長生き医療費助成制度、病気の早期発見を促す人間ドック受診料の助成、年齢の節目ごとに支給する元気に長生き奨励金など、検証の結果、



拡幅及び歩道の整備を行う補助道第3号線

今後の道路の対策としては、道路網の拡充や都市基盤整備として、調査・研究を進めます。

(5) 橋梁
向殿橋は経年劣化による危険個所の補修工事を行います。また、(仮称)東光院橋は、経費に関連する工法について東京都西多摩建設事務所と協議を行った結果、設計の修正が必要となり、関係者と協議のうえ新たに修正委託を行うこととなりました。

(6) 町営住宅
諏訪下住宅について計画通り1棟の建設工事と解体を実施します。しかし、国からの補助制度である「社会資本整備総合交付金」の交付率が年々低下しており、今後の町営住宅の計画について財源の見直しが必要となる見込みです。

(7) (仮称) 梅ヶ谷トンネル
28年度から用地買収が開始され、着実に事業が進捗していると伺っております。



多くの方が利用する外出支援バス

「定」として車を運転せざるを得ない状況にあることから、一朝一夕に解決できるものではないことも事実でございます。これらの町としての問題解決の手法の一つとして、高齢者の皆さまから高い評価をいただいております。「外出支援バス」や町内循環バスぐるりん日の出の運行について、総合的に検討する「地域交通計画」の作成を行います。

(3) 障がい者支援
障害のある人が、ライフステージに応じて可能な限り地域で自立した生活が送れるよう、「障がい者就労・生活支援センター あるつて」の事業を充実し、自立と社会参加を支援します。

3 豊かな創造性に富んだ児童・生徒を育成するための教育の充実による人づくり

(1) 小中学校の整備
小中学校のトイレについては、環境問題を含めて改善を図ることを目的に、29年度に洋式化を進めるための調査を行い、計画的に実施します。また、本宿小学校につきましては耐震補強は完了しておりますが、小中学校5校の中で老朽化が著しいとされるため、今後の大規模改修へ向けて29年度に調査及び基本的な改修計画を策定します。

(2) 指導室
28年度に東京都教育庁から教育管理職を町に派遣し、学校教育課内に設置しましたが、29年度には新規事業として、教員の指導力向上に向けた教育研究指定校の指定について中心的な役割を果たしていきます。

(3) 教育環境の充実

教育環境として必要不可欠な教室へのエアコン設置を行います。

(4) 学校給食

学校給食センター内の機器の老朽化に伴う入替更新を進めており、本年度は、油ろ過機の更新を行うことで、給食調理員の作業の安全性を高めると同時に、安全で質の高い給食の提供を行います。

(5) 社会教育

昨年4月に締結いたしました、亜細亜大学と日の出町との包括的協働・連携協



協定締結式で握手を交わす 橋本町長と亜細亜大学 栗田学長

力に関する協定書に掲げる、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに関すること」に基づき、オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの候補地となれるよう、最大限の努力をしたいと思います。また、スポーツの一層の振興を図るため、体育協会の自立に向けNPO法人化について支援を行います。

4 元気ある活気に満ちた 商工観光業と農林業の振興

(1) (仮称)野鳥の森・こども自然公園
オオタカ等の調査も終了したため、中核施設となる駐車場、トイレを含む管理棟の建設を行い、その後、地元の皆さまや関係者の皆さまからなる、(仮称)運営連絡協議会を設置し、管理運営、活用方法などについて協議します。

(2) 観光関係
町の観光振興にご尽力いただいている観光協会の、なお一層の発展を図り、自



行事への参加者の増加につれ周知されつつある「ひのでちゃん行政カード」

立した観光事業を行なっていただくため、法人化を支援します。

さかな園につきましては、手軽に魚釣りやバーベキューができる施設として、また、集会施設として町の内外からお客さまを迎えておりますが、施設の老朽化も進んでおり、29年度にはレストハウス及び人道橋の改修を行い、利用者の利便性と集客力の向上を目指します。

(3) 農業関係
都市農業活性化支援事業につきまして、認定農業者や認定就農者に対して、ハウスなどの生産施設やトラクターなどの施設整備等への支援を行い、都市農業の活性化を図るものです。また、農業の担い手不足を解消するための新規就農者への支援を引き続き行います。

(4) 商工関係
昨年から実施している、ひのでちゃん行政カードは、現在約4000枚が発行されており、町が実施する行事などに参加すると行政カードにポイントがたまり、満点になると町内のひのでカード加盟店で500円分の買い物ができます。住宅改修等補助金につきましては、住宅のリフォームに対する補助を行うことで、住宅の延命化と町内業者の振興を図るもので、平成28年度の現時点の実績は

170万円を超え、工事費の総額は3千万円を超えていることから、29年度についても継続します。

(5) 林業関係
28年度には懸案であった勝峰山林道が供用開始されました。29年度は、幸神入林道の開設事業を開始いたします。なお、その他の林道についても関係機関と協議を進め、開設・改良を図ります。

(6) 肝要の里
農業構造改善事業として平成12年にオープンした肝要の里は、所期の目的を達成できない状況にはありますが、町の重要な観光拠点の一つであり、年間を通じて各種の団体によるイベントも開催され、一定の集客力は持っているものと考えております。今後、農業関係者、観光協会、商工会、シルバー人材センターなどの町内関係者や、大学関係者などの外部の関係者とも意見交換を行い、販路の拡大や季節感のある山菜などの販売を行うことを検討します。

いずれにいたしましても、平井川上流部には温泉センター、さかな園、日の出三山



様々な活用が期待される肝要の里

(日の出山、麻生山、勝峰山)、白岩の滝など観光スポットも多いことからこれらとの連携も重要と考えております。

5 総合文化体育センター並びに 野外スポーツ施設の設置推進

現在、第2期総合文化体育センター設置検討委員会で、類似施設の視察や現地での運営方法等の聞き取りなどを行い、それを基にしたアンケートの実施方法などの検討を行っており、来年の2月を目途に「(仮称)日の出町総合文化体育センター基本計画」を策定します。

この基本計画では、総合文化体育センターの規模、設置する施設の内容、住民及び関係団体の要望の把握、建設及び運営に関する手法や経費の算出を行うこととなっております。

なお、これを契機に、処分場が設置さ



環境にやさしい日の出町へ

財政規模
平成29年度の一般会計予算案の総額は、前年度比0.2%増の89億3千万円となり、日の出町が未来へ向かって躍進し、燦然と輝く町となることを願う予算となりました。

歳入面では、根幹をなす町税が前年度比2.3%増の25億7千38万1千円となり、地方交付税の人口増等による増額や東京

れていることによる負のイメージを払拭するため、総合文化体育センターを拠点として環境にやさしい町、「環境先進都市 ふるさと日の出」を基調に町づくりを推進します。

以上が、平成29年度の主要な事務事業です。

平成29年度の予算案 予算編成の基本方針

(1) 「躍進 ひので」ニュー5大作戦」を中心施策と定め、着実に推進する

(2) 行政改革の不断の取り組み強化として、全ての施策・事務事業の必要性等を見極め、「スクラップアンドビルド」方式により、各事業はおおむね3年を目途に検証を行うこと

この2点を基本方針として予算編成に取り組みました。

第2期の橋本町政も任期の終盤に入つてまいります。この間、町民の皆さまにお約束したことにつきましては、それぞれを着実に実行し、既に町民の皆さまにご評価をいただいているもの、事業や計画が実施段階に入り作業等が進行しているもの、各方面への要望・交渉を必要とし、引き続きそれらを行っているものなど多様な状況にあります。

また、社会経済状況の変化に伴い、第

都の総合交付金を活用することにより予定の財源を確保することに努めました。また、新規事業の一部については万全な財源を用意できない状況となりました。

歳入面では、29年度の重点事業である「躍進 ひので」ニュー5大作戦」の各事業経費は政策経費として必要額を確保し、住民サービスの維持につとめたところと

また、法人町民税の昨年に引き続き大幅な減という厳しい財政環境の中にあつても、住民サービスは低下させない、継続事業はストップさせない、を念頭に温かみのある予算編成を行ったものです。

この一般会計に国民健康保険などの4つの特別会計を加えた予算の総額は、140億8千300万円となり、前年度比0.6%の増額となりました。

結びに

結びとなりますが、この日の出町の限らない発展と、町民の皆さま、町議会及び議員各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げるとともに、職員の一層の奮闘努力を期待して、平成29年度の施政方針といたします。

平成29年3月1日

日の出町長 橋本聖二